学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説　世界史（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院） ウイニングコンパス（東京法令出版社編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合で学習した歴史の学び方を活用して、世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解を深めていきます。そして事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯をふまえて地球世界の課題を探究していきます。

・学習内容や課題に対して、自分の考えや意見を導き出し表現する力が必要です。そのため、周りの人と対話をしながら自分の考えを表現し、積極的に発表し、議論に参加してください。
・知識の定着のために授業内で小テストや問題演習を実施します。復習して学習内容を振り返る習慣をつけてください。
・授業時間内の学習内容だけでなく、自らさらに学びを深めていきましょう。ノートやプリントに自ら学びを進めていったことを整理していきましょう。

2　学習の到達目標

・世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、これまで学んできた歴史の諸問題や現代の諸問題について、より深い理解を深める。
・世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、歴史にみられる課題をより深く考察し、その解決方法について考えることで、より効果的に説明したり議論できる力を養う。
・世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、自らの生き方を見つめ、歴史的な諸課題を解決し、よりよい現代社会の実現を視野に主体的に解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、これまで学んできた歴史の諸問題や現代の諸問題について、より深い理解を深めている。	世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、歴史にみられる課題をより深く考察し、その解決方法について考えることで、より効果的に説明したり議論できる力を身につけている。	世界の歴史について、テーマ別学習や問題演習を通じて、自らの生き方を見つめ、歴史的な諸課題を解決し、よりよい現代社会の実現を視野に主体的に解決しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	諸地域の結合と変容	第 15 章 帝国主義と アジアの 民族運動	a: ・第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 ・列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ・アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 b: ・国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ・列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c:第二次産業革命と帝国主義、列強の世界分割、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	 ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
2		第 16 章 第一次世界大戦と世界の変容	a: ・第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ・第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ・第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 b: ・塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920 年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 c：第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
		第 17 章 第二次世界大戦と新しい 国際秩序の形成	a： ・世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 ・第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 b： ・政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や□介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ・戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			c：世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦、第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
3	地球世界の課題	第 18 章 冷戦と 第三世界の台頭	a： ・冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 ・冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 ・ベトナム戦争をはじめとする 1960 年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 b： ・先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第２次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・1960 年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c：冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺について自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第 19 章 冷戦の終結と 今日の世界	a： ・1960～1980 年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 ・冷戦がどのような過程をたどって終結した	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			のかを理解している。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 ・現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。 ・設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 b: ・原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・1990 年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 ・芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: オイル＝ショックとその影響、冷戦の終結、今日の世界が抱えている課題、現代文明の諸相、地球世界の課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			ト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度